



福田ちえの市政だより

福田ちえ後援会事務所 〒320-0841 宇都宮市六道町 12-38

電話: 028(636)2582 FAX: 028(636)2559

<http://www.f-chie.jp/>

✉ info@f-chie.jp



令和3年9月議会に登壇 (2021年9月7日登壇)

9月議会は、新型コロナウイルス感染症の第5波を受け緊急事態宣言が発出される中での開催のため、保健所所管の新型コロナ対策に関する一般質問を自粛し議員協議会での説明に変える異例の対応がなされました。そのため、本会議での質問項目に保健所所管の質問が含まれておりませんが、新型コロナに関する保健所所管の質問を事前に書面で提出し、9月2日全員協議会で説明を受けました。ワクチン接種をしても感染を100%防げるわけではありません。むしろワクチン接種者が感染を拡大させているとの報告もあり、より一層の感染対策と行動変容につながる情報発信を要望しました。



【質問項目】 ※質問概要は裏面に掲載。

1. 行政のDXについて
2. 新しい時代の学びを実現する学校について
3. アンコンシャス・バイアスと女性の活躍推進について
4. 医療的ケア児及びその家族に対する支援について
5. 共生社会の実現に向けた取組みについて

質問2.新しい時代の学びを実現する学校についての質問の中で、老朽化が進む西原小学校の安全対策とGIGAスクール時代の学校施設の在り方を踏まえた施設改修へ早急に取り組むべだと、数枚の写真を示して訴えました。



6/9 女性議員へ呼掛け超党派女性議員有志で、市長・教育長へ「生理の貧困」に対する早急な対応を要望しました。



7/4 <トークライブ特別企画に生出演>
From Point to Line オンライン異業種交流会
の音楽ライブに出演しました。

<トークライブ 特別企画>

"生理の貧困"について考える



フリーアナウンサー
高村麻代様

宇都宮市議会議員
福田ちえ様

産婦人科医
おいたりこ

近日、メディアやSNS等で取り上げられる機会が多くなった女性の「生理」についての話題。コロナ禍において収入が激減した女性が、生理用品を購入することができず困難に立ち会っているという現状があります。

またこのことをきっかけに、金銭的側面から生理用品を購入できないだけでなく、「生理は不潔だ」と言われた」「私が生理用品を買ってこない」「パートナーが生理用品を買わせてくれない」といった、生理への知識の欠如、ネグレクト、DVの背景も潜んでいることがわかってきました。

今日のトークライブではそうした問題を、女性の先頭に立てて新え続けている宇都宮市議会議員の福田ちえさんをお招きし、フリーアナウンサーであり地域活性化のため幅広く活躍している高村麻代さんと、当バンドのヴォーカルであり産婦人科医であるおいたりさんとともに話あっていきたいと思います。

トークライブの
アーカイブ配信
こちらから↓

メイキング
インタビュー
こちらから↓



<トークライブ特別企画に出演> 音楽ライブ中に、社会課題である「女性の貧困・生理の貧困」についてを語るという、異色のコラボが企画され、音楽ライブの生配信に出演しました。ライブを楽しむ皆さんに社会課題を知っていただき、SDGs持続可能な社会の実現を進めたい、との主催者の想いが込められています。コロナ禍で、非正規労働の多くを占める女性の雇用環境が悪化し生活が困窮している現状や、学生はアルバイトが無くなり親からの仕送りも厳しく「助けて」と声を出せずに孤立している現状があります。こういった課題の解決の糸口にと、女性議員有志で市長と教育長へ要望書を提出したことや、議会質問で小中学校女子トイレに生理用品の常設が決定したことをお伝えしました。知ることで「気付く力」が生まれ、気付けば支援団体や行政へつなぐことができます。一人ひとりが意識の貧困を無くしたい、誰一人取り残さない社会[SDGs]は、一人ひとりの「気付き」を広げることだと私は思う。

令和3年9月宇都宮市議会 福田智恵一般質問《質問要旨》

1. 行政のDXについて

DXにより、庁内外での会議や専門職が受講する研修、住民向けの研修等のリモート開催の状況を伺う。
また、DXの観点から、会議や研修等のリモート化をより一層進めるための環境整備にどう取り組むのか。

2. 新しい時代の学びを支える学校について

老朽化が進む西原小学校の安全対策とGIGAスクール時代を踏まえた施設改修への取組について

西原小学校の校舎は1972年の建築から約50年、体育館は1975年から46年、プールに至っては1953年から約60年経過しており、老朽化が進んでいる西原地区まちづくり懇談会においても平成22年度、平成26年度、平成30年度と小学校施設の改修要望を市長へ提出しているが、一向に見通しが立たない。子ども達の安全を第一に考え、文科省が進めているGIGAスクール時代の学校施設の在り方を踏まえた施設整備に早急に取り組むべきと考えるが見解を伺う（※パネルを使い老朽化の現状を訴えた）。

令和3年8月に国の有識者会議において示された「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」を受け、令和2年3月に策定した「宇都宮市学校施設長寿命化計画」にどのように反映していくのか、見解を伺う。

学校の校則等の見直しと主権者教育について

文科省は令和3年6月8日、県市教育委員会等に対し「校則の見直しに関する取組事例」事務連絡を発出した。校則はどうあるべきか、学校のルールが時代や社会からずれていないか、子どもの意見表明権や参加権を実態の伴った形で保障し、学校のあり方を変えていく必要がある。多様な生き方が尊重され主権者教育につながるよう、早急に校則を見直すべきと考えるが見解を伺う。

3. アンコンシャス・バイアスと女性の活躍推進について

ジェンダーギャップ指数153カ国中121位の日本。性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）が根強く、大都市圏への若い女性の転出超過が止まらない。男女を問わず幅広い年齢層に潜在するアンコンシャス・バイアスの解消をどのように図り、活躍推進を加速させるのか。

つながりサポート女性支援事業で実施される生理用品の小中学校女子トイレ設置は、いつからどのように実施されるのか、また、学校以外の地域の居場所との連携も進め、相談支援体制を充実してはいかがか。

4. 医療的ケア児及びその家族に対する支援について

近年小児医療の進歩によって、かけがえのない大切な命が救われるようになり、全国的に医療的ケアが必要なお子さんが増えてきている。（参考：本市の医療的ケア児 2016年46人→2020年86人）「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が成立し9月18日施行され、地方自治体の「義務努力」は「責務」に変わるが、どのように対応を強化するのか見解を伺う。

5. 共生社会の実現に向けた取組について

「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施する「重層的支援体制整備事業」が国で創設されたことに伴う本市の対応について伺う。

重層的支援体制整備事業をより充実させるために、社会福祉法人の社会的役割と地域貢献を推進してはどうか。宇都宮市医師会において、栃木県保険者協議会、宇都宮市、宇都宮市医療保健事業団と協働で、「特定健診・特定保健指導」のスキームを活用した、「地域における社会的処方の実践」に関する厚生労働省モデル事業に取り組んでいる。市は「社会的処方」の取組に積極的に参加し、地域ぐるみの仕組みづくりを更に推進すべきと考えるが見解を伺う。



↑ 議会質問の録画映像はこちらからご覧いただけます。
質問や取組など、詳しく知りたい方はお申出下さい(^-^)



地域支え合い研究会



第47回 9月25日(土)18:00～20:00

西原地区コミセン A B 会議室

■学校に行かない生き方と身近な人ができること

第48回 10月23日(土)18:00～20:00

西原地区コミセン A B 会議室

■(仮称)つながりサポート女性支援事業

第49回 11月27日(土)18:00～20:00

西原地区コミセン A B 会議室

■(仮称)みんなの保健室

第50回 12月11日(土)18:00～21:00

西原地区コミセン A B 会議室

■一年を振り返って 意見交換会